

平成 31（令和元）年度 全国学力・学習状況調査の結果から（平成 31 年 4 月 18 日実施）
小諸市教育委員会

1 全国学力・学習状況調査はどんな目的で、どんな調査をするのですか？

文部科学省は、次の目的で小学校第 6 学年、中学校第 3 学年、原則として全児童生徒を対象に「全国学力・学習状況調査」を毎年実施しています。

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 今年度の調査は、例年とどんなところが違うのですか？

- ・今年度は小学校で国語、算数。中学校では、国語、数学に加えて英語が初めて実施されました。
- ・昨年度まで基礎知識を問う A 問題と知識の活用力を問う B 問題で出題されましたが、今年度は、A, B を一体的に問う問題が出題されました。
- ・英語の「話すこと」に関する問題は、解答をコンピュータ教室のパソコンを利用して、自分の音声でマイクで USB に録音する方式で行われました。小諸市の中学校では、支障なく実施できましたが、不具合が生じた学校もあったため、「話すこと」に関する問題の結果は参考値として、全国の平均正答率だけが公表されました。

3 小諸市内小中学校の平均正答率は、どのような状況でしたか？

【小学校】 <国語、算数の全体的な傾向>

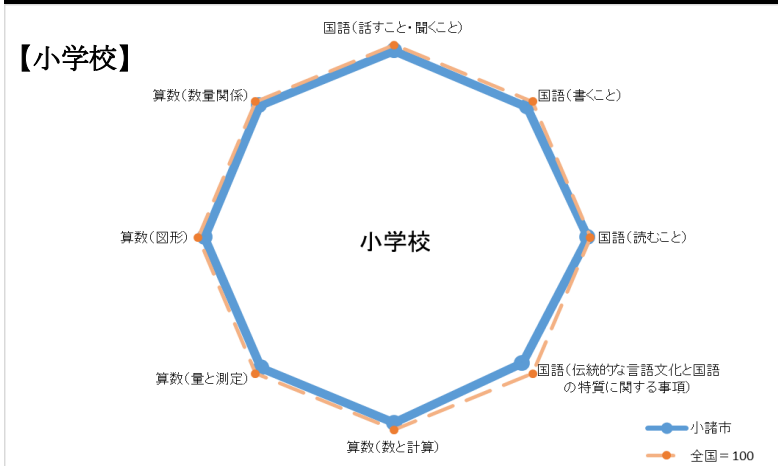
- ・各教科の平均正答率は全国と比べて、国語、算数ともにほぼ同じでした。

【中学校】 <国語、数学、英語の全体的な傾向>

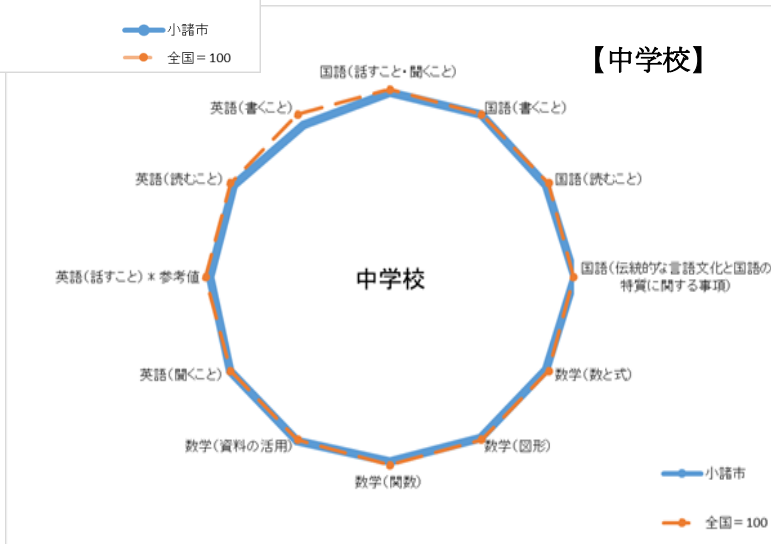
- ・各教科の平均正答率は全国と比べて、国語、数学、英語ともにほぼ同じでした。

4 学習指導要領の領域等ごとに全国と比べると、どのような状況でしたか？

【小学校】



【中学校】



5 どんな問題がでたのですか？

【小学校】

※解答は、解答用紙に書きましょう。

。そこで、

公衆電話を必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

字数にふくみます。

一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましょう。なお、読点（、）も

文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した

(2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、「報告する文章」の の文を二つの

平均正答率が、全国平均をわずかに下回っている「伝統的な文化と国語の特質に関する事項」（言葉の特徴やきまり、漢字の読み書きなど）について、解説します。

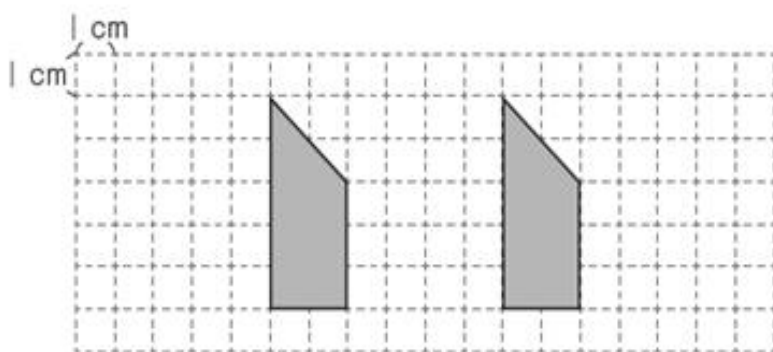
「漢字を文の中で正しく使うこと」をねらった、文中の「友達にかぎらず」の傍線部を漢字に直す問題では、「限らず」と書けなかった児童が、いました。

また、一文を、文と文との意味のつながりを考えながら、「そこで」を使って二文に分けて書き直す問題（左側の調査問題）では、接続語が文と文の意味のつながりに果たす役割を理解して、正しく使えるかを問うています。正答は、

・「思いました。（そこで。）わたしは、」又は「と思えます。（そこで。）わたしは、」です。

この問題のように、基礎知識をしっかりと定着させるためには、日常的な学習活動が必要であることがわかります。家庭学習が作業的に繰り返しをするような形式的なものになっていないか見直し、自ら考え主体的に取り組む学習が授業で展開されているかなど、児童の関心・意欲・態度を高めていきます。

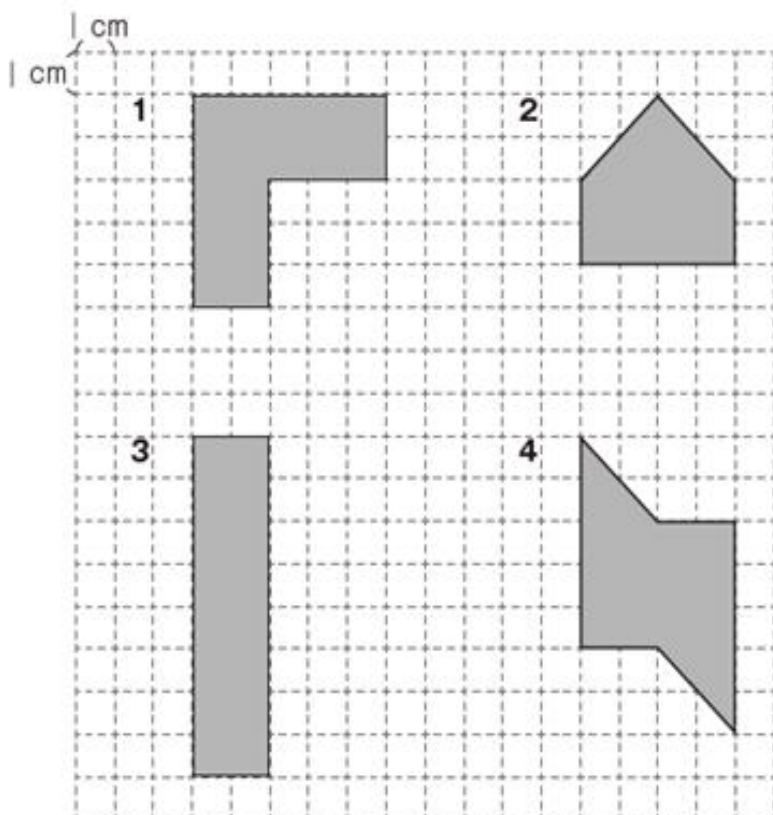
(2) ちひろさんは、次のように、2つの合同な台形をつくりました。



上の2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、^{ひがひ}裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせ、いろいろな形をつくります。

どのような形をつくることができますか。

下の1から4までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。



算数の学習では、頭の中で考えるだけでなく、具体物を使って、確認したり説明したりすることが大切です。

左の調査問題は、「二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ」問題です。

正答は、「1, 3, 4」です。「2」を加えた児童が、かなりいました。この児童は、「ずらす、回す、裏返す」ことで構成することができる図形を捉えることはできていますが、辺の長さに着目することができずに「2」も選択していると考えられます。

このような調査問題では、2つの合同な台形を、ハサミで切って操作をしながら考えることはできません。

ですから、実際の図形などを用いて、手と頭を使いながら数学的な操作活動を行うことを数多く行うことが必要です。そして、そこで自分が発見した事実を、相手やグループの友だちに、自分の言葉でわかりやすく説明することを通して、数学的な見方・考え方が育成されていくのです。

【中学校】

国語では、すべての領域でほぼ同じかわずかに高い数値になっています。

下の調査問題は、「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く問題です。文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つことができるかどうかをみることをねらいにしています。小諸市は全国と同様に90%以上の平均正答率でしたが、無回答が、わずかに全国平均より高くなりました。「よい短歌」や「すばらしい短歌」などと表現するだけで、自分が感じたことや考えが具体的に書かれていない回答がありました。

(正答例)・・・A(内山さんの短歌)の場合


「新しい」と「背筋を伸ばして始まりを待つ」という表現から、新年度の最初の授業の始まりを、期待と不安とが混ざった気持ちで待っている様子が想像できます。新年度を迎えると、皆気持ちを引き締めたり決意を新たにしたりするものです。

しっかりと自分の考えをもつためには、どのように日常生活を送ればよいのでしょうか？まわりの大人が、「あなたはどう思う？」などと、ちょっと聞くだけで自分の考えを吐露する場面が出てくるのではないのでしょうか。

7 文化 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 全国中学生新聞

声の広場

今年こそ
優勝!!



(中2・野球大好き)

私の朝のうしろめ
春が好きみたい、
春が好きみたい、
暖かくてなごむね。



(中3・こねこ)

みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝
中一 泉 あきら

【選者より】「ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ
中一 内山 誠一

玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔ボタン笑顔と
中二 森川 りか

春風がいつもの道を駆け抜ける皆の足取り自然と軽く
中三 松田 花子

■投稿先 〒100-6543 東京都千代田区中央3 全国中学生新聞「声の広場」係
FAX 000-123-xxxx メール zenkoku@xxx.xx.xx

▼イラストははがき大。「みんなの短歌」は1通に2首まで。
▼氏名、学年、住所、電話番号を明記。イラストはペンネーム可。

三 「みんなの短歌」に掲載されている内山さんの短歌、森川さんの短歌、松田さんの短歌の中から一首を選び(どの短歌を選んで)もかまいません。その短歌を読んであなたが感じたことや考えたことを、【選者より】を参考にしながら、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

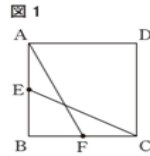
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 選んだ短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書くこと。

条件2 条件1で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

数学でもすべての領域でほぼ同じですが、「資料の活用」の領域では全国平均正答率をわずかに上回りました。下の調査問題を見てください。

- 7 右の図1のように、正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとします。真由さんは、線分AFと線分CEについて、次のことを予想しました。



予想1

正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF = CE$ になる。

次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

- (1) 予想1が成り立つことは、次のように証明することができます。

証明

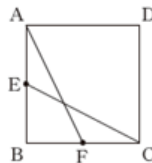
$\triangle ABF$ と $\triangle CBE$ において、
 正方形の4つの辺はすべて等しいから、
 $AB = CB$ ……①
 点E、Fはそれぞれ辺AB、BCの中点だから、①より、
 $BE = CF$ ……②
 共通な角だから、
 $\angle ABF = \angle CBE$ ……③
 ①、②、③より、 $\triangle ABF \cong \triangle CBE$ がそれぞれ等しいから、
 $\triangle ABF \cong \triangle CBE$
 合同な図形の対応する辺は等しいから、
 $AF = CE$

上の証明の $\triangle ABF \cong \triangle CBE$ に当てはまる言葉を書きなさい。

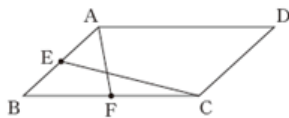
- (3) 真由さんは、これまでに調べたことを、次のようにまとめました。

まとめ

◎ 「正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF = CE$ になる。」ということが成り立つ。



◎ 「平行四辺形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF = CE$ になる。」ということが成り立たない。



上のまとめから、「四角形ABCDが正方形ならば、 $AF = CE$ になる。」ということが成り立つことと、「四角形ABCDが平行四辺形ならば、 $AF = CE$ になる。」ということが成り立たないことがわかります。

正方形でない四角形で、 $AF = CE$ になる四角形ABCDを考えます。四角形ABCDがどんな四角形ならば、 $AF = CE$ になりますか。「～ならば、……になる。」という形で書きなさい。

- (2) 真由さんは、前ページの予想1の正方形ABCDを平行四辺形ABCDに変えることを考え、次のことを予想しました。

予想2

平行四辺形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF = CE$ になる。

しかし、右の図2のような場合があることから、上の予想2が成り立たないことに気づきました。
 図2には下の特徴があることから、図2を用いて予想2が成り立たないことを示すことができます。

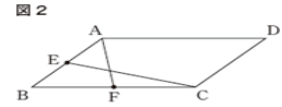


図2は、予想2の「平行四辺形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとする」ということを \square ① \square 。また、図2は、予想2の「 $AF = CE$ になる」ということを \square ② \square 。

上の \square ① \square と \square ② \square に当てはまる言葉の組み合わせとして正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア ①：みたしている ②：みたしている
 イ ①：みたしている ②：みたしていない
 ウ ①：みたしていない ②：みたしている
 エ ①：みたしていない ②：みたしていない

7の(3)は、四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF = CE$ になるかを説明する問題です。結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明できるかどうかをみます。

正答例は、次の3つです。

- ・四角形ABCDがひし形ならば、 $AF = CE$ になる。
- ・四角形ABCDが $AB = BC$ の四角形ならば、 $AF = CE$ になる。
- ・四角形ABCDが対角線ACとBDが直行し、BDがACを二等分する四角形ならば、 $AF = CE$ になる。

この調査問題は、証明、文章や図、グラフなどから問題設定を理解して、示された課題を解決することに抵抗がある、どの知識を活用するか判断に迷うなど、苦手意識をもつ生徒が多い領域です。

しかし、実生活においても目的意識をもって問題を発見し、解決するという過程を大切にすることによって、数学的な見方や考え方、数学的な技能を高めることが大切だと思います。

(正答例)

- (1) 2組の辺とその間の角
 (2) イ
 (3) (例)

四角形ABCDがひし形ならば、 $AF = CE$ になる。

(2) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、それぞれ会話が成り立つように英語を完成させなさい。

(例) <放課後に図書室で>

A : Can you help me now?

B : Sorry. I (do) my homework now.

(答え) am doing

① <朝の通学路で>

A : I watched a baseball game yesterday. It was so exciting.

B : Oh! (like) baseball?

A : Of course. I love playing and watching baseball.

② <休み明けに教室で>

A : Was your vacation good?

B : Yes. My family and I went to Australia.
(stay) there for two weeks.

A : Wow! Wonderful.

英語の「書くこと」に関わる調査問題の一つです。

与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く問題です。

①の正答例は

・Do you like です。

②の正答例は

・We stayed です。

②で一番多かったのは、会話の流れから肯定文を書くべきだということは理解しているのですが、時制を正しく判断できず、基本的な語や文法事項などを理解して文を書いている解答でした。具体的な例としては、

・You stay (主語の選択と動詞の活用に誤りがある)

・We are stay (be動詞が混在している)

などでした。会話の流れや文全体を様々な角度から考えることが必要です。

6 学習状況調査で、どんな事がわかりましたか？

家庭や地域での生活にかかわる質問の児童生徒の回答で、次のような特徴がありました。

- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか?」「今住んでいる地域の行事に参加していますか?」という質問に、小・中学生ともに肯定的に答えています。
- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝て(起きて)いますか?」の回答からは、小学生は規則正しい生活ができているが、中学生になると、やや乱れてしまう傾向があります。
- ・中学生では、「将来の夢や目標をもっていますか?」の質問に対し、「よくあてはまる」と回答した生徒が全国平均より高く、「まったくあてはまらない」が低い結果となりました。

7 学校では、これからどんな取り組みをしていきますか？

小学校は、来年度から、中学校は令和3年度から「新学習指導要領」が完全実施されます。今までも言われてきた、子どもたちに「生きる力」を育むために、学校での学びを日常生活で活用したり、家庭での経験を学校生活に生かしたりすることが、とても大切です。子どもさんが学校で学んだことについて、家庭で、是非話してみてください。保護者の皆さんの働きかけが、子どもたちの「生きる力」の原動力になります。

学校では、次のような具体的な改善が考えられています。授業は、グループで話し合うような活動が、より多く取り入れられます。テストは、例えば、算数・数学では答えだけを書く問題から、答えの求め方や考え方も書くような問題が出るようになります。家庭学習は、作業的に繰り返しをするようなものから、各自の課題に合わせて自分で計画して取り組むようになります。長野県立高校の入試問題でも、記述式の問題が増えています。また、大学入試も大きく変わります。今回の調査では、その方向性が示されました。